

CRDS公開セミナー

OECDが進める科学技術・イノベーション政策の新潮流 ～OECD科学技術・イノベーション局ワイコフ局長、コレッキア課長を迎えて～

概要

日時：2023年6月23日(金) 14:00～17:00

会場：科学技術振興機構（JST）東京本部 B1 大会議室（**一般公開、事前登録制**）

住所：〒102-8666 東京都千代田区四番町 5-3 サイエンスプラザ

地図：<https://www.jst.go.jp/koutsu.html#TOKYO>

形式：対面開催／日英同時通訳付

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター（CRDS）

ウェブサイト：<https://www.jst.go.jp/crds/sympo/20230623/index.html>

開催趣旨

急激に変化する世界情勢、人工知能（AI）などの新興技術の急速な発達と影響の増大など、科学技術・イノベーション（STI）を取り巻く状況は現在大きく変化しています。こうした中、世界38ヶ国が加盟する経済協力開発機構（OECD）においても次世代のSTI政策のあり方について議論が進んでいます。

OECDはこれまでも時代の変化に応じたSTI政策の方向性を提示してきました。本年3月に発行された「STI Outlook 2023：混乱の時代における移行の実現」では、世界的危機・主要国間の戦略的競争という時代認識の下、持続可能な社会への移行、コロナパンデミックからの教訓、新興技術のガバナンスなどの重要課題が提示されています。また新興技術のガバナンスに関する新たな取組みとして、価値を共有する国々が参画するハイレベル・マルチステークホルダーの対話の場である Global Forum on Technology を立ち上げました。さらに、STIを通じたグリーンかつ強靱な社会への移行を目指し、新しい時代のSTI政策とそのシステム、国際連携のあり方などを包括的に検討する S&T Policy 2025 イニシアチブも進められています。

こうした取組みの成果は、2024年4月に開催予定の科学技術政策委員会閣僚会合における議論の前提となるとともに、各国のSTI政策の方向性にも大きな影響を与える閣僚宣言の重要な柱になると考えられます。ついては、我が国においても、このような国際的な潮流を踏まえた上でSTI政策の方向性を検討していくことは重要です。そこで、本セミナーでは、OECD 科学技術・イノベーション局において上記取組みを推進しているアンドリュー・ワイコフ局長とアレクサンドラ・コレッキア課長をお招きし、具体的な取組みをご紹介いただくとともに、国内の関係者や参加者の皆様と今後の見通しや解決すべき課題を議論します。

プログラム（*講演1、講演2とも40分程度の講演と5分～10分程度の質疑応答を想定）

| 時間 | 内容 |
|-------------|---|
| 14:00-14:05 | 開会挨拶 橋本 和仁、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）理事長 |
| 14:05-14:55 | 講演1：STI Outlook 2023 および Global Forum on Technology（仮題） Andrew W. Wyckoff, Director for Science, Technology and Innovation, OECD |
| 14:55-15:40 | 講演2：OECD 科学技術政策委員会閣僚会合 2024：課題の共有と変革のためのアクション Alessandra Colecchia, Head, Science and Technology Policy Division, Directorate for Science, Technology and Innovation, OECD |
| 15:40-15:50 | 休憩 |
| 15:50-16:50 | <p>パネルディスカッション（パネリストからの話題提供と参加者との意見交換）</p> <p>【パネリスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Andrew W. Wyckoff, Director for Science, Technology and Innovation, OECD ● Alessandra Colecchia, Head, Science and Technology Policy Division, Directorate for Science, Technology and Innovation, OECD ● 飯田 陽一、OECD デジタル経済政策委員会 議長／総務省 情報通信国際戦略特別交渉官 ● 清浦 隆、文部科学省 審議官（科学技術・学術政策局担当） ● 菱山 豊、国立大学法人徳島大学 副学長 <p>【モデレーター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 浅野 佳那、JST CRDS 科学技術外交グループ フェロー／科学技術国際動向調査室 調査役 |
| 16:50-17:00 | 総括・閉会挨拶 倉持 隆雄、JST CRDS 副センター長 |

総合司会：有本 建男、JST 参与

講演者プロフィール

アンドリュー・ワイコフ (Andrew W. Wyckoff) 氏

OECD 科学技術・イノベーション局長。米バーモント大学で経済学(学士)、ハーバード大学大学院で公共政策を学ぶ(修士)。米科学財団(NSF)、米議会技術評価局(OTA)のプログラムマネージャーなどを経て、OECD 科学技術・イノベーション局経済分析統計部門や OECD 情報・コンピューター・コミュニケーション部門の長を務めた後、現職。米科学アカデミーやマレーシア首相の科学技術・イノベーションに関する諮問委員会の委員なども務める。



アレッサンドラ・コレッキア (Alessandra Colecchia) 氏

OECD 科学技術・イノベーション局科学技術政策課長。新興・融合技術、グローバル・サイエンス・フォーラム、宇宙・海洋プログラム、科学技術分野の測定基準や実証分析など、科学技術・イノベーション政策に関する業務を統括。直近では、デジタル計測を主導し、OECD の統合政策フレームワーク「Going Digital」の各次元の主要指標を提示し、将来の計測ロードマップを設定した「Measuring the digital transformation」を発表。



参加登録 (定員 100 名、先着順)

こちらからお願い致します (登録締切 2023 年 6 月 21 日 (水) 13:00)。

<https://form2.jst.go.jp/s/3677151d/o>

お問い合わせ先

科学技術振興機構 (JST) 研究開発戦略センター (CRDS)

山村 将博、小林 尚矢 crds@jst.go.jp